

# 赤旗

日本共産党中央機関紙

号外 1982年12月

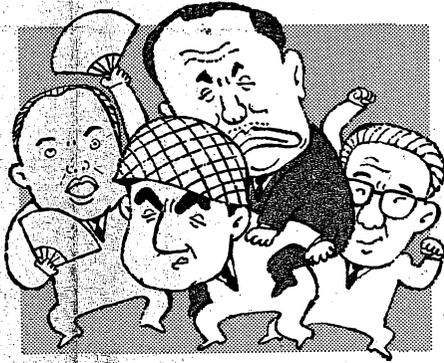
# 戦後最悪の内閣

# 悪政 阻止

# 国民の共同を

「ロ事件つづし軍団布陣、田中復権内閣」の様相(毎日)、「金権・右傾化ドッキング」(朝日)、「らつ腕の警察コンビ」(読売)、「タカ派前面、灰色も復権」(東京)——中曽根内閣発足を報じた十一月二十七日朝刊各紙には、こんな大見出しがおどりました。それもそのはずです。

## まことに田中軍団「ロ」による 政治の乗っ取り



党の元締め幹事長は、田中角栄の腹心のロッキード汚職高官の二階堂氏の留任、内閣の元締めの官房長官には田中の懐刀(ところがたな)といわれる後藤田元警察庁長官、法務大臣に田中擁護で公然と裁判批判をやった泰野元警視總監、国家公安委員長に田中派の山本元大阪府警本部長——この布陣は、だれがみても、田中角栄とその一派による党と内閣の乗っ取りです。

それに灰色・加藤六月氏の入閣、選挙での買取で自派から数百人の逮捕者をだした後藤田氏やロッキード事件でも名前がでていた中曽根首相自身を加えれば、頭から足の先まで腐敗がらみの「田中防衛」内閣です。

しかも、中曽根首相は、かねがね二・二六事件のフアンスト北一輝に心酔してきた右翼思想の持ち主で、児玉誉士夫とつながり、現憲法の改悪を主張しています。

## ゆきつまり自民党政治を

## フアンスト的に強行

鈴木前首相は政策にゆきつまり、支持率一六割という最悪の状態におちいって政権をなげました。中曽根首相は「鈴木政治の継承」をいっています。このことは、自民党のゆきつまった政治——アメリカと財界のいなり、田中角栄いなる政治を、中曽根流

にいつそタカ派的、ファッション的なやり方でやるという事です。

中曽根首相は、「思いやりと責任」などといっていますが、それは、田中角栄やアメリカや財界への「思いやり」であり「責任」でしかありません。

# 平和と民主政治を願うすべての勢力は 力をあわせまじりつ

こんな危険な政権を国民が支持するはずはありません。中曽根内閣の登場は、日本の政治が新しい激動の時代にはいりつつあることを示しています。

日本共産党の宮本議長は、十一月二十六日の党国会議員団総会でのあいさつの中で、「この新しい段階にさいして、ひろく力を結集して、自民党の新しいファッション的な攻撃にたいして、いっそう勢力を結集する、正しい目標でたたかうというところがとめられている」とのべまし

た。そして平和・民主主義・革新統一をすすめる全国懇話会(全国革新懇)がうち出している「三つの共同目標」こそ、「中曽根内閣がいまさらやろうとしている基本的な政策にたいするはつきりした回答の路線」と、強調しました。

### 全国革新懇が提起した共同目標

- ① 軍備拡大大企業、財界の抱けたる「国民のくらしを犠牲にする臨戦態」に反対し、軍費削減の削減と福祉、教育の充実を要求する
- ② 憲法改定をめぐり、自民民主主義を守るため、金権・腐敗の政治配に反対し、自民民主主義を守るため、公正な政治を実現する
- ③ 被爆者の全面禁止を緊急課題として、レガの限定被爆者への努力・加担に反対し、日本を被爆国にする日本軍軍閥をやめ、非核・非同盟・中立的日本をめざす

# 日本共産党

日本共産党中央委員会 電話03(403)6111(大代表)

田中悪魔に  
魂売った！

外国でも悪評

▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)  
▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)  
▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)

▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)  
▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)

▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)  
▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)

▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)  
▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)

▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)  
▼「中曽根は」田中角栄の複製品を動かした。ウシントン・ポスト(11月27日)

日本共産党発行の新聞

反戦、平和、国民の利益をまもって60年

真実つたえ

希望をはこぶ

赤旗しんぶん

● 月刊/月、七〇〇円 毎日16ページ ● 日曜版/月四五〇円 毎週20ページ

# 中曽根内閣3つの危険



中曽根首相は、かねてから「総理になつたらなにをやるかわからん政治家」といわれ てきました。それは、その場、その場で、保身と反動政治推進のためならなんでもやる危険な人物だということ です。いったい、どんな危険な性格をもっているか、つぎの三点でみてみましょう。

## ① アメリカ、財界に迎合して 軍拡・軍事同盟の強化

中曽根首相は、アメリカや財界の圧力に非常に弱い、日米軍事同盟推進論者です。アメリカも「うってつけの首相」(国務省スポークスマン)と、うれしさをかくしません。財界も「田中元首相の色が濃いというが、中身さえよければこたわる必要がない」(永野日商会頭)と、世論やマスコミなど気にするなど、ハッパをかけています。

アメリカや財界が歓迎するにはわけがあります。一九七〇年、佐藤内閣時代、防衛庁長官として訪米した中曽根氏は、アメリカの意向をくんで、核兵器の

日本へのもち込みの余地を残しておきたいと、アメリカ側に進言しました。またいま問題になっている三海峽(津軽、宗谷、対馬)封鎖や一千呎シール(海上輸送路)防衛を引きうけ、日本がその力をもちたいとのべました。この迎合ぶりには、当時の佐藤首相でさえ、わが党に迫り及されてあわてて政府の方針ではないと国会で弁明したほどです。

アメリカも財界も、こうしたことを知っているのです。中曽根内閣が日米軍事同盟をいっそう強化するのに「うってつけ」だとみているのです。

## ② 国民苦しめる「行革」をクレーデターの推進

中曽根首相は、「行革」を最重視するといっています。

しかし、中曽根首相のいう「行革」は、金権腐敗やムダをなくす、国民のぞむ行政改革とはまったく縁もゆかりもありません。論より証拠、福祉や教育など国民生活関連はほとんど削りつても、大突出している軍事費や、大企業にただで与えている補助金などには、まったく手をつけません。そればかりか、「行革」の名で軍事費はもつとふやし、アメリカのいいなりに「西側同盟の一員」として義務を果たし、有事に戦時立法もやっつけていこうという大変なものです。

中曽根首相は、A級戦犯容疑者の岸信介元首相からはげまされ、「クレーデターのつもりで「行革」をやる」といっています。

中曽根首相はまた、「行革でお座敷をきれいにして」、そこへ「立派な憲法を安置する」のが方針だともいっています。「立派な」憲法とは、いまでもなく、憲法改悪のことです。

まさに、「行革」ということで国民に目つぶしを投げつけながら、実際には、憲法改悪など政治の反動化をねらい、しかもそれをファッショ的なやり方でしゃにむにやるうとしているのが、中曽根内閣です。こんなことを許したら日本はとりかえしがつかなくなりませう。



## ③ ロッキード隠しで 世論に挑戦

ロッキード事件の主犯田中角栄が、その裁判を有利にするために子分や自分に近い人物を大臣にすえることは、まさに天をもおそれぬ暴挙です。中曽根首相は、田中の要求にこたえてこれを強行し、さらにおなじロッキード政治家加藤六月氏まで国土庁長官にすえました。

ロッキード疑獄を力づくでもみ消し、田中復権させやろうとしているのです。中曽根首相自身、ロッキード事件に名前がでてくるほか、殖産住宅五億円献金

問題、七二年総裁選で田中から五億円もらったといわれる事件、ジャパンライン事件、九頭竜川ダム事件など、黒い霧に深くつつまれています。

このように、中曽根内閣がやろうとしていることは、アメリカと軍事産業寄り軍備増強と日米軍事同盟の強化、「行革」の名による国民へのいっそうの犠牲おしつけ、そして手段をえらばぬロッキード隠しです。まさに、中曽根内閣は国民にとって戦後最悪の内閣です。

購読申込書

氏名	住所	電話番号
〇印をのりつけ	下さい	日刊「赤旗」
		「赤旗」日曜版

● お申し込みは、お近くの党事務所または、党員か書記住所まで  
東京選挙区野分会 4-26-7 日本共産党中央委員会  
電話 03-2036111(大代表)